

# 市政を問う

## 一般質問



松井 正志議員

### 豊岡版DMOのねらい 地域の稼ぐ力をつける

**問** 豊岡版DMOは、地域経済の活性化を実現するために、今後どのような目標や戦略などは

**答** DMOのねらいは地域全体の稼ぐ力をつけることにある。地域固有の観光で儲ける力をつける

ものが売り物として通用するよう磨きをかけた。当面やるべきことは現状

分析をしっかりと行い、売るといふ経験を積んでいくことである。

**問** 3人の職員の派遣はどんな根拠に基づくか

**答** 2人は公益的法人等への派遣等に関する条例に基づいており、もう1人は地方公務員法に基づいて研修派遣するもの。

**問** 人的援助は条例派遣でないといけない。市が実質的に給与負担をして派遣していることを懸念している。問題はないか

**答** 財源等については問

題がないと認識しているが、改めて研究したい。

### 民間の鹿処分施設には支援等を行いたい

**問** 駆除対策により3年間で鹿の捕獲頭数が40%近く増えている。一方で課題が出てきているか

**答** 捕獲班の高齢化が大きな問題。頭数が増え、その処分が課題と認識している。山で埋設することが大変な

**問** 捕獲した個体を埋設するか、販売するか、自家消費するかなど、実態を把握しているか

**答** 実態等については把握している。

ない。



豊岡版DMOで外国人観光客の増加も目指す

**問** 実態を把握していないのであれば、処分について今後どのような方向へ誘導するか、何らかの方針を定めるかなど、検討する考えがあるか

**答** 食肉加工は有効な活用ではあるが、採算性から運営にはリスクを伴う。民間事業者等が鹿処分施設を考える場合には、支援等を行っていききたい。



井上 正治議員

### 安全・安心の暮らし 安全・安心の取組みと 公共施設管理

#### 安全・安心の暮らし

**問** 住宅耐震化への取組みは

**答** 市の27年度目標90%、総務省推計値25年度67%。改修工事は多額の費用を

要し進まない。簡易耐震診断や耐震改修助成制度活用の周知と普及啓発に取り組む。

**問** 耐震シェルターを活用した改修工事の推進を

**答** 比較的安価で住みながら短期間での設置と高齢者や体の不自由な方の命を守る空間確保が可能。補助制度を設けており普及啓発を考える。

#### 市の防犯カメラ設置事業の見解と実績は

**答** JR豊岡駅東西の広場や道路を対象に4台設置。県の制度にあわせ、地域団体を対象に補助制度がある。効果は犯罪の未然防止や犯人の検挙に一定のものがあり、警察

と協議、連携しながら必要な箇所に設置を検討。

**問** 学校には、優先的に防犯カメラの設置を行うべきだ

**答** 学校の設置状況は少ないと思う。県の実践的安全教育総合支援事業を活用し普及させたい。

#### 公共施設管理

**問** 神鍋高原キャンプ場の松枯れ状況に対する見解と今後の方針は

**答** 松の虫被害により枯れ松となり木陰が少ない。今後は広葉樹の成木の植栽を検討。施設の予約受付業務部門に課題を認識。今後利用者数の

増加やホスピタリティの徹底など図るため、民間事業者による管理運営させる指定管理制度への移行も有力な案として、神鍋高原体育館とセットで検討。

**問** 譲渡先を募ることも検討。譲渡の具体的な条件は今後の課題、検討の過程で地元理解を得る。



本年5月の神鍋高原キャンプ場内

# 市政を問う



西田 真議員

## 口腔保健センター設置

**問** 障害者(児)、要支援者、要介護者、一般歯科医院に通院できない方のための口腔保健センターは、兵庫県下に13箇所あるが但馬では1箇所もなく非常に困っているとの声を聞く。また、口腔機能維持が健康寿命を延ばすことになると言われていいる。設置が必要と思うがどうか

催はどうか。また暑さ対策、熱中症対策として体育館入り口付近に冷水器の設置はどうか

**答** 6月と9月の気象状況を比較したら大きな差はない。1学期には修学旅行、自然学校等

**問** 必要性については十分認識している。予防から治療まで一貫した歯科保健医療体制の整備は必要であると思っており、

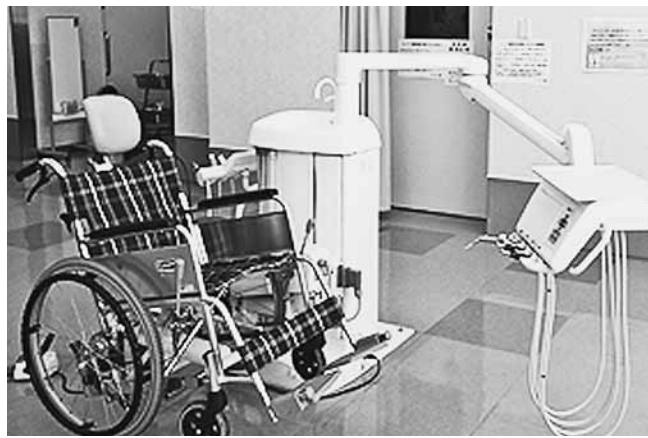
今後は歯科医師会とも十分連携しながら、対策を検討していく。

## 熱中症対策

**問** 小・中学校の運動会、体育祭は9月の残暑が残る秋開催だが、熱中症対策として5月、6月の春開

## 障害者にも住みよい

## 環境整備を



口腔センター内の治療台：兵庫県歯科医師会HPから引用

あり、総合的に判断すると、現状での開催でいき

たい。お茶を各家庭より持参し、こまめに水分補給させることで暑さ対策、

熱中症対策に努めている。このことから、冷水器を設置する計画はない。

## 有害鳥獣対策

**問** 現状を見聞きすると山間部は依然として被害

が軽減されない。被害の推移及び高齢に伴う狩猟者の現状と課題はどうか

**答** 竹野、城崎、日高地域に農業被害が増加して

いる。シカ捕獲専任班による捕獲対策や集落柵の整備における防除対策を

強化し、被害の抑制を図っていききたい。今後も狩

猟者の確保、育成に努めてまいりたい。



伊賀 央議員

## 日高医療センター

**問** 療センターのあり方検討で、住民要望がどう織り込まれているのか、また現場の判断がどう反映されているのか、やりとりの中からは伝わってこない。医療がドクターを

起点とする時、現場のモチベーションがどうなのかを大切に考えねばならない。今回、眼科センターを豊岡病院に戻す方向が、なぜ判断されたのか

**答** 高年齢が進む中での眼科治療は、まずは救急対応力があり、併発症の対応、他科との連携が必ずや必要になる患者が増えてお



あり方検討委において無床化の検討もされる『日高医療センター』

り、豊岡病院での整備が、さまざまな科との連携で特に価値があると説明を

受けている。

**問** 高齢者学びの拠点等事業化可能性調査はどこまで可能性として想定する

か。候補地はどうか

**答** 学びの拠点以外に商業的機能、子育て支援、交流、健康増進機能などの中で可能性を探りたい。ではないと思う。

## 街の再創造に向けて

## グランドデザインを描け

官民協働も検討しエリアは大開通りを中心に市街地の中で検討したい。

**問** 街の将来をどうするのか。増える高齢者に優しい街づくりとして、日常生活をどうバックアップするのか、買い物機能をどうするのか、医療の機能はどうか。これらの配置も含め機能を想定する姿が何もないければ、皆が自由に動く。余計に若い人が出ていく。この街をどうしたいのかグランドデザインを書くべきか

**答** 問題意識はよくわかるが、今全体の構想を書いても、人々は恐らく全くピンとこない。皆がその必要性を意識し、人々の意識の成熟というものが要だ。今グランドデザインを作るタイミングではないと思う。